# 第161期 中間株主通信

2022年4月1日 ≫
2022年9月30日

美濃窯業株式会社
MINO CERAMIC CO.,LTD.
証券コード：5356

## 経営理念

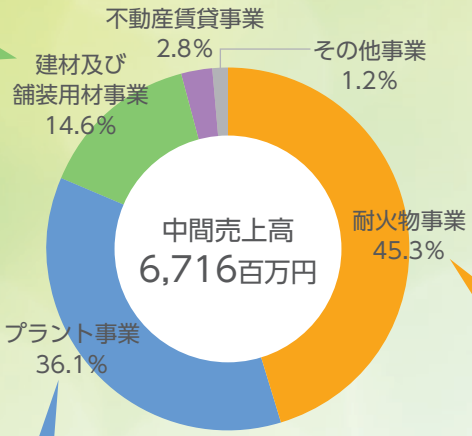
### 美濃窯業グループの使命

セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、社会の発展に貢献する。

一味違う強い特徴を持つ、質の高い企業グループを目指す。

## 事業紹介

道路用材及び加工製品の
製造・販売・施工




耐火煉瓦、不定形耐火物、
ニューセラミックスの製造・販売

工業炉・自動化設備など、
総合プラントの設計・施工

# ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第161期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに第2四半期決算の内容につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田滋俊

# 事業概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染が再拡大しましたが、まん延防止等重点措置の終了を受けて個人消費は対面型サービスを中心に回復し、設備投資も高水準の企業収益を背景に底堅く推移しました。

一方、世界経済は金融引き締めに伴う米国経済の急減速、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う世界的なエネルギー価格の高騰がもたらした各種物価上昇、日米の金融政策の違いによる急激な円安、ゼロコロナ政策継続による中国経済の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

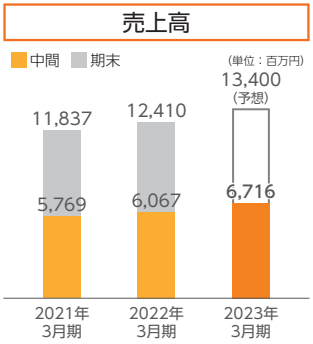
このような状況の下、セメント業界向けを中心とする耐火物事業については、セメントの国内生産量が3カ月連続で前年同月を下回る中、原燃料価格上昇分の販売価格への転嫁及び各種コストダウンに取り組みましたが、販売価格への転嫁が原燃料価格の高騰に追い付かず、売上高は前年同四半期比微減、利益は前年同四半期比大幅に下回る結果となりました。

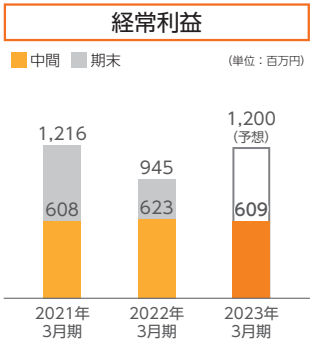
プラント事業については、当社の主要顧客の設備投資環境が回復し受注が堅調であることに加え、昨年度買収した岩佐機械工業株式会社の売上高と利益が加算されたこともあり、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

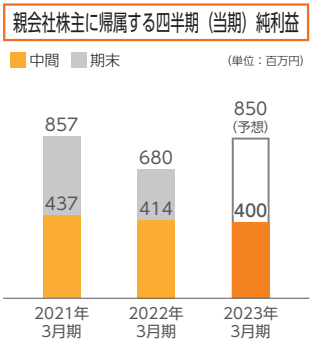
建材及び舗装用材事業については、コロナ禍で縮小した民間工事需要が、経済活動の制限緩和に伴い順調に推移したことにより、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

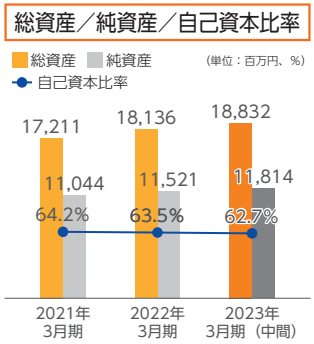
不動産賃貸事業については、遊休不動産の積極的な活用により売上高、利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高6,716百万円（前年同四半期比10.7％増）、営業利益556百万円（前年同四半期比5.6％減）、経常利益609百万円（前年同四半期比2.2％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益400百万円（前年同四半期比3.4％減）となりました。



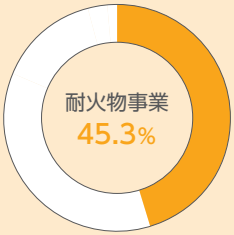



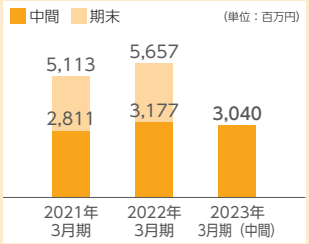



# セグメント別の概況

構成比



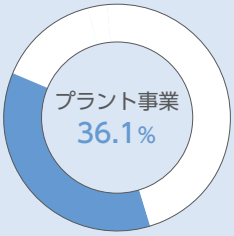

売上高



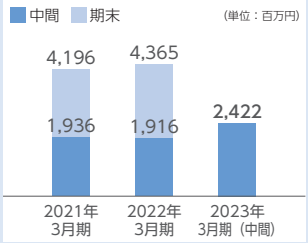

## 原価低減図るも原燃料価格の高騰響く

耐火物事業につきましては、原燃料価格上昇分の販売価格への転嫁が遅れ、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,040百万円（前年同四半期比4.3％減）、セグメント利益は90百万円（前年同四半期比65.6％減）となりました。

構成比



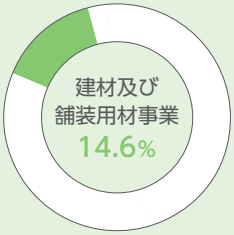

売上高



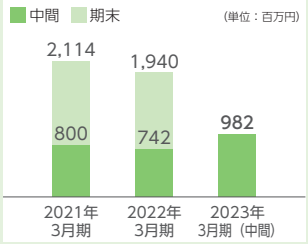

## 買収した岩佐機械工業の業績が加わる

プラント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,422百万円（前年同四半期比26.4％増）、セグメント利益は335百万円（前年同四半期比27.9％増）となりました。

構成比



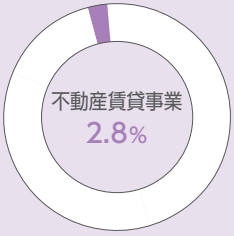

売上高



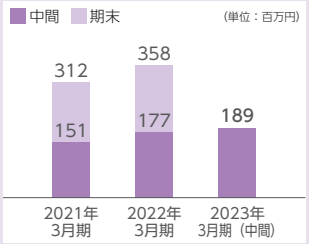

## 行動制限緩和による民間工事需要の回復

建材及び舗装用材事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は982百万円（前年同四半期比32.3％増）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期は36百万円のセグメント損失）となりました。

構成比




売上高




## 遊休不動産の積極活用

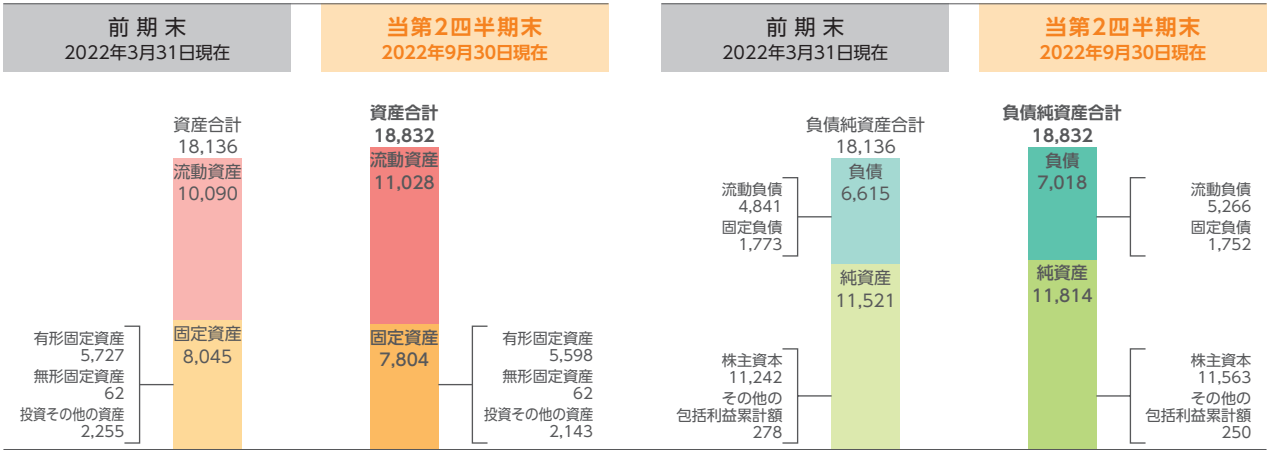
不動産賃貸事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は189百万円（前年同四半期比6.7％増）、セグメント利益は93百万円（前年同四半期比2.8％増）となりました。

※その他事業として売上高は80百万円（前年同四半期比50.7％増）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比61.8％増）となりました。

# 連結財務諸表

## 第2四半期連結貸借対照表の概要

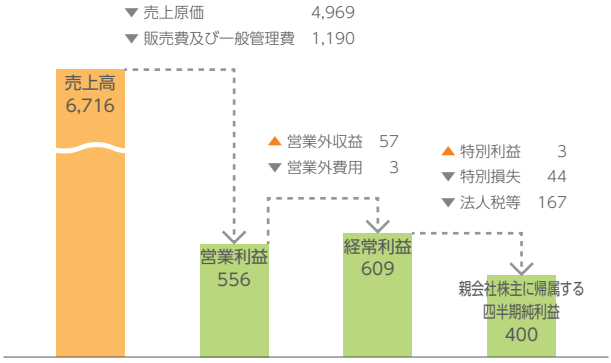
（単位：百万円）




## 第2四半期連結損益計算書の概要

（単位：百万円）

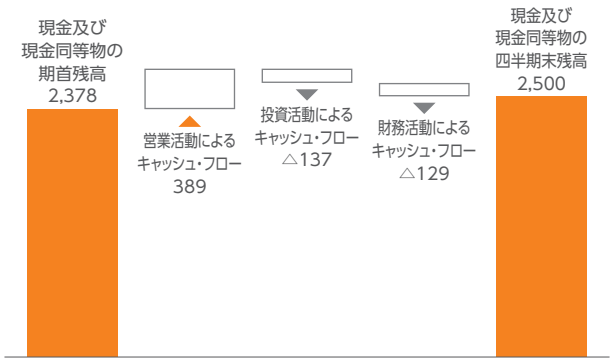
**当第2四半期連結累計期間**
**2022年4月1日～ 2022年9月30日**




## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）

**当第2四半期連結累計期間**
**2022年4月1日～ 2022年9月30日**




## ホームページのご案内

ホームページに会社情報や事業紹介、IR情報、及び最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

https://www.mino-ceramic.co.jp/　美濃窯業　検　索

# 会社情報／株式情報（2022年9月30日現在）

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 会社名 | 美濃窯業株式会社<br>MINO CERAMIC CO.,LTD. |
| 設立 | 1918（大正7）年8月14日 |
| 資本金 | 8億7,700万円 |
| 従業員数 | 連結349名（単体281名） |
| 事業内容 | 耐火物及び耐火材料の製造販売<br>工業窯炉及び付帯品の設計<br>製作・施工・販売<br>熱処理・自動化プラントの設計・建設<br>建築材料及び舗装用材の製造・施工・販売<br>工業用セラミックス製品の製造販売 |
| 本社 | 本社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地<br>本社事務所：愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号 |
| グループ会社 | 美州興産株式会社<br>岩佐機械工業株式会社 |

## 役員

| | |
|---|---|
| 代表取締役社長 | 太田　滋俊 |
| 取締役　専務執行役員 | 中島　正也 |
| 取締役　執行役員 | 長谷川　郁夫 |
| 取締役　執行役員 | 石川　豊 |
| 社外取締役 | 大島　崇文 |
| 社外取締役 | 佐藤　誠 |
| 取締役　監査等委員 | 山田　俊彦 |
| 社外取締役　監査等委員 | 澁谷　英司 |
| 社外取締役　監査等委員 | 小林　宏明 |

## 株式の状況

| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 31,960,000株 |
| 発行済株式の総数 | 10,636,820株<br>（自己株式2,273,688株を除く） |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 1,925名 |

## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月（議決権の基準日　毎年3月31日） |
| 剰余金の配当の基準日 | 期末配当　毎年3月31日<br>中間配当　毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 〒460-8685<br>名古屋市中区栄三丁目15番33号<br>三井住友信託銀行株式会社<br>証券代行部 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社<br>証券代行部 |
| （電話照会先） | 0120-782-031（フリーダイヤル）<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。 |

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

| | |
|---|---|
| 公告の方法 | 電子公告（当社ホームページに掲載）<br>ホームページアドレス<br>https://www.mino-ceramic.co.jp/<br>※ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 |


**美濃窯業株式会社**
（お問い合せ先）
愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
052-551-9221


UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK